

平成25年度 大津町行政改革懇談会

第1回懇談会会議録

- 開催日 平成26年2月25日（金）
- 時間 開会：午後1時30分 閉会：午後4時00分
- 場所 大津町役場 別館3階 ミーティングルーム
- 出席者 出席委員：明石照久 松永富幸 高濱一昭 徳永浩二 池松康博 山本セツ
首藤誠治 村山和義 豊住幸夫 荒木啓一 金田 隆 佐藤典子
以上12名
- 欠席委員： 石橋幸代子 1名

町出席者：家入町長 木村企画部長 杉水企画課長
羽熊行革推進係長 山部（財政係） 以上5名

【午後1時30分開会】

1. 委嘱状交付（代表して明石氏に町長より交付）

2. 町長あいさつ（家入町長より挨拶）

挨拶に先立ちまして、皆様に、まず、お詫びを申し上げます。昨年度、各団体から推薦いただいた委員の皆様、公募により申込みいただいた委員の皆様に、本日の懇談会の開催が非常に遅れたことに対して、誠に申し訳なく、この場をお借りして、お詫び申し上げます。

この行政改革懇談会は、平成17年度に策定された大津町行政改革大綱に基づき、住民サービスの向上と、継続的な町の発展を目標に、行政の事務事業をはじめ、事務処理方法や施設の管理運営方法など検証し、様々な取り組みや改革を行ってきました。

しかし、私たちを取り巻く環境は、日々、様々に変化し、時代と住民のニーズに対応しながら、行政としての改革を前へ前へと進めていくことが求められています。その改革のひとつの手法として、行政改革懇談会の委員の皆様のお力をお借りして、ご意見をお聞かせいただきたいと考えているところです。ただ、ご意見の内容によっては、すぐに取り組みができるもの、検討が必要なもの、中には出来ない部分もあるかもしれませんが、貴重なご意見を真摯に受け止め、前向きに検証していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 委員紹介（羽熊係長より紹介）

4. 会長選任（事務局一任により、熊本県立大学の明石教授を会長として選任）

5. 会長あいさつ（明石会長より挨拶）

※会議資料は委員宅に事前配布済

6. 議事（明石会長議事進行）

1) 議事録の公開について

【羽熊行革推進係長】

町では『審議会等の会議の公開に関する指針』を策定しており、審議会等は議事録や議事概要を作成し、町ホームページに公開するなど会議結果を公表するよう規定されています。本懇談会の議事録等については公表する方向で考えていますが、各委員のご意見、詳細の議事録か議事概要か、発言された委員名も公表していいのか、協議をお願いします。

【明石会長】

どこまで公表するかということですが、議事録の公表については、従来通り概要版でよろしいでしょうか。（異議なし）また、発言者の委員名の公表についてはどうでしょうか。

【高濱委員】

委員の名前を出して、何か問題ありますか。

【事務局】

事務局としては、特に問題ありません。

【明石会長】

取り扱いについては、会議の内容や市町村によって異なりますが、他の委員の皆さんは如何でしょうか。（他の委員からも公表に賛同する意見有り）。

それでは、皆様の意見を踏まえ、会議録は、概要版と委員名を明らかにして公表します。

2) 大津町の財政状況について

【羽熊行革推進係長】

資料6「大津町の財政状況について」を説明。

※特に意見無し。

3) 大津町行革懇談会経過報告について

【羽熊行革推進係長】

資料1～4について概要を説明。

【高濱委員】

行革大綱の中の「財政運営」から「経営」へと行政の意識が変わってきたのはとても素晴らしい。参加⇒参画⇒協働へ進んでいる。とても良い取り組みだと思う。

【山本委員】

色々テレビなどで取り上げられていますが、「ふるさと納税」の取り組みについて？

大津町もメディアを積極的に活用してはどうか？

大津町で調べてみたが、たどり着けなかった？景品とかも工夫すれば？

【杉水課長】

大津町でも取り組んでおります。平成20年度から始まりまして、本年度は、現時点で、57万円(13件)、多い年で平成21年度に73万円の「ふるさと納税」がっております。ホームページでも掲載して情報発信をしています。

ホームページに掲載しておりますが、目立たないかもしれませんので、検討していきます。景品についても、大津産の旬の野菜の詰め合わせを、今年から取り入れている。少しでも魅力あるものをお返ししながら取り組んでいるところです。

【金田委員】

今まで、行革懇談会をやれなかった理由は？

【杉水課長】

24年度に募集をかけて、今までやれなかったということで、事務局として日程調整が出来なかったということが正直なところで、前会長が体調を崩され後任をお願いするのに時間を要してしまったことも要因のひとつです。誠に申し訳ありませんでした。

【金田委員】

直接の担当者は、どなたになるのですか？

【杉水課長】

担当者は、企画課の行革推進係です。財政係長が兼務しています。

4. 後期改革プランの進捗状況について

資料5について概要を説明。

【池松委員】

職場環境のOA化について、XPの導入状況や対応策、人材育成、PDCAの取組について、町の管理、取組状況についてお尋ねしたい。企業は、徹底した新人教育が企業の将来を決めてしまうほど大事なことで考えている。

【杉水課長】

パソコンのOSの問題については、4月までにXPの切替えを進めています。人材育成の情報教育については、役場の人事も3年程度で異動してしまうというのが課題でもある。先進自治体の事例やPDCAを含めて人事とも検討していきたい。

【池松委員】

企業では、フルに時間を使うという意識、たとえば、外にいても自分のパソコンを開いていつでも、どこでも仕事が出来るとい環境になってきた。

平成26年度は第2四半期では、良くなっていくのではないかと期待もしている。企業も頑張って成果を挙げなければならない。最近の端末などを使いながら、フルに仕事ができ、そして、良い住民サービスが提供できるシステムが出来ればと考えてるところです。ただ、課題もあると思いますが、期待していきたい。また、企業としても応援をしていきたい

い。

【杉水課長】

ネットワーク化により、業務の推進を図っている。また、会議などペーパーレス化の取り組みも行っています。タブレット端末も議会等で導入を進めていくことになってます。

【徳永委員】

全体的なことですが、改革の視点ということで、住民満足、住民協働、経営ということで、住民意識、やる気ということが一番大事な視点である。地域のコミュニティをいかに新しい形で再生していくのか、色々な形で方法を変えながら、発掘していくかが住民満足度、という視点でも大事である。

地域の区割りを見直すということでも、地域が出来た生い立ちなどが大切であり、自立ということでは重要になる。行政として、どのようなバックアップが考えられるのか？

【杉水課長】

地域の区割りについては、歴史的な部分だとか、地理的な部分だとか、非常にむづかしいという認識で考えています。

地域づくりのバックアップ体制としては、企画課の地域づくりの部分で、各地区の温度差もあります。地区担当職員を配置して応援していきたい。また、地域づくりの補助金制度もあります。地域の方々と一緒になって連携していきたいと考えている。

【徳永委員】

義務的経費の中で、扶助費が大きくなってきた。行政のテコ入れも必要な部分はありますが、地域住民やみんなで守っていく、どういう形でやっていくのかが、地域のビジネスに繋がっていくような地域づくりの推進が大事であると考えます。

【金田委員】

大綱では、「男女参画共同参画推進懇話会で各審議会の女性登用、目標30%」の提言を推進していくことになっている。しかし、現在、17%しか出来ていない。せっかく計画しても、実効性の問題で、主体的に進めていく責任者を決めてやっていかないとむづかしいのではないか。

【杉水課長】

大事なことであると考えています。ご意見は真摯に受け止めて検討して行きたいと思いません。

【金田委員】

住民課の窓口についてですが、ある方から対応が非常にいいという話を聞いた。他よりも大津町が一番良かったので、大津町に住むことにした。という話を聞いたことがある。

こういうことは、非常に良いことで評価したい。

5. その他

【事務局より】

第2回懇談会 3月26日（水）午前10時から、役場4階 大会議室

【山本委員】

任期は27年3月31日ということによろしいですか。

【事務局】

はい。

【町 長】

協働の手法について、町としても色々やってきましたが、町民の皆さんがもっと参加していけるような手法をやっていければと考えています。しかし、新たな業務や権限委譲による業務など、人が必要とされております。福祉や教育の分野でも同様でございます。また、近年では、地域の区長さんや民生委員さんなどの各種役員の後継者が不足していることが課題となっております。そういう状況の中で、後継者育成・人材育成が非常に重要であると考えているところです。現在、様々な場面で、ボランティアに協力していただく皆様には、大変お世話になっておりますが、今後も非常に期待するところでもございます。

今後も、皆様のご意見をお聞きしながら取り組んで参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。